

スペースに、雰囲気づくりに気をつかったシステムキッチンが置まれる様になりつゝ、あらのが、現状である。

次いで図によつてその作用と効果とを説明する。

本発明のものはレンジ(1)の壁面部に内蔵せるものである。

排気装置を使用する場合、電源スイッチ(7)をアッシュすれば電源が入り、パイロットランプ(8)が点灯する。

電源が入ると装置内のファン(5)が回転し、レンジ(1)で発生する油煙等を吸引し、吸引孔カバー(3)を通過して、フィルター(9)及び吸着清浄脱臭剤(10)入りの清浄パック(4)により清浄脱臭され、排気孔(6)より外部に送り出されるものである。

レンジ(1)使用後再度電源スイッチ(7)をアッシュすれば、パイロットランプ(8)が消え電源が切れる。

この清浄パック(4)の交換は、吸引部から手軽に交換出来るもので、カバー(3)を外し、清浄パック(4)の把手に指を掛け、手軽に引出して交換出来るものである。

このようにレンジ(1)の上部を広くあける事を可能とし、又レンジ(1)で発生する油煙をクリーンにして送り出せるようになったる清浄排気装置付レンジである。

4. 図面の簡単な説明

図は本発明の実施の一例を示すもので、第1図は装置の右側面の断面図、第2図は外観を示す図、第3図は吸引部カバーと清浄パ

ックの外観図、第4図は清浄パックの断面図、第5図は排気孔を示す図である。

(1)はレンジ、(2)は清浄装置、(3)は吸引部カバー、(4)は清浄パック、(5)はファン、(6)は排気孔、(7)は電源スイッチ、(8)はパイロットランプ、(9)はフィルター、(10)は吸着清浄脱臭剤。

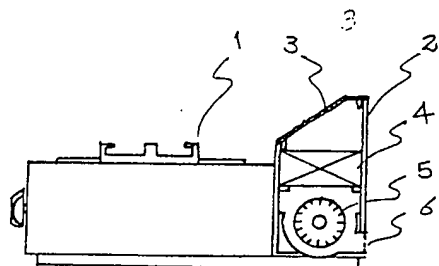
特許出願人

フクバデンタル株式会社

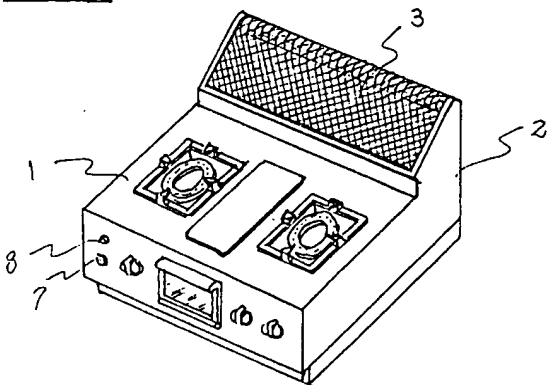
代表取締役 堀 場 博



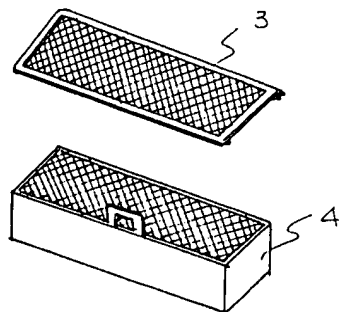
第1図



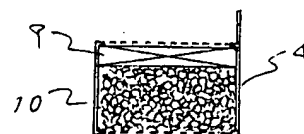
第2図



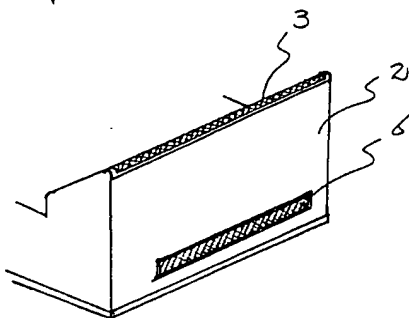
第3図



第4図



第5図



⑬ Int.Cl.⁴

F 24 C 15/20

識別記号

庁内整理番号

B-6909-3L

⑭ 公開 昭和63年(1988)6月23日

審査請求 未請求 発明の数 2 (全3頁)

⑮ 発明の名称 清浄排気装置付レンジ

⑯ 特 願 昭61-297532

⑰ 出 願 昭61(1986)12月16日

⑱ 発 明 者 福 場 博 千葉県流山市名都借491-1

⑲ 出 願 人 フクバデンタル株式会社 千葉県流山市名都借914-1
社

明 細 書

1. 発明の名称

清浄排気装置付レンジ

2. 特許請求の範囲

1) レンジ(1)の壁面部に内蔵せる清浄装置(2)の、吸引部カバー(3)を通過し、ファン(5)により吸引せるレンジ(1)の油煙を、フィルター(9)及び吸着清浄脱臭剤(10)を内蔵せる清浄パック(4)を通過する事で清浄脱臭し、クリーンになつた空気を排気孔(6)より外部に送り出すようにしたる、清浄排気装置付レンジ。

2) 清浄パック(4)を清浄装置(2)の吸引孔より手軽に交換を可能とせる、特許請求の範囲第1項に記載の清浄排気装置付レンジ。

3. 発明の詳細な説明

本発明のものは清浄装置を有する清浄排気装置付レンジに関するものである。

我国では戦後台所にステンレス流し台が使用されるようになり、これがキッチン革命の主流であつた。

昭和48年には西ドイツからシステムキッチンが日本に輸入され、同50年には我国でも本格的に普及するようになった。

高度成長に伴いだんだん生活様式のみでなく、住宅事情に適した台

所づくりが進み、何よりもキッチンルームに臨のある空間づくりを促したのはインテリア志向の家具調システムキッチンである。

この様にシステムは進んできても日本ではレンジフードの空気はそのまゝ、外に出し放しで、隣の家のおかずの内容がわかるというひどい状態である。

これに対して我国にシステムキッチンを持込んだ西ドイツでは、住宅用ではレンジフードの空気をそのまゝ、外に出すことは禁止されており、フィルターで空気をろ過し、再び室内に戻すリサイクル方式を採用している。

我国にあつてもビル内の集中排気用ダクトに排気する場合には、レンジフードの空気をそのまゝ、排気する事はゆるぎされない。

我国では現在の所システムのみ輸入され、それを使用するマナーがおろそかになっているが、我国でもこの様な西ドイツのマナーは、土地が無く住宅が密集する日本では当然必要なマナーといわねばならない。

又日本では狭いキッチンが主婦の共通の悩みであり、今までのような場所を取るレンジフードは無く、レンジの左右両側面又は壁面に排気装置を有するタイプとなり、今までレンジフードの有つたレンジ上部には、吊り戸棚を設置するようになるのは時間の問題である。

我国におけるシステムキッチンはだんだん主婦だけの場所から家族の

PAT-NO: JP363150533A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 63150533 A
TITLE: RANGE WITH CLEANING EXHAUST DEVICE

PUBN-DATE: June 23, 1988

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY
FUKUBA, HIROSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY
FUKUBA DENTARU KK N/A

APPL-NO: JP61297532

APPL-DATE: December 16, 1986

INT-CL (IPC): F24 C 015/20

US-CL-CURRENT: 126/299D

ABSTRACT:

PURPOSE: To clean oily smoke generated in a range to be delivered outside, by a method wherein a cleaning exhaust device is incorporated in the wall surface part of a range.

CONSTITUTION: In the use of an exhaust device, with a power source with 7 depressed, a power source is switched ON, and a pilot lamp 8 is lighted ON. With the power source switched ON, a fan 5 in the device is run, oily smoke and the like generated in a range 1 is sucked. By its passage through a suction hole cover 3, the oily smoke is cleaned and deodorized by means of a filter 9 and a cleaning bag 4 containing an absorptive and cleaning deodorant 10 and is delivered through an exhaust hole 6 to the outside. With the source switch 7 depressed again after the use of the range 1, the pilot lamp 8 is lighted OFF, and the power source is switched OFF. In replacement of the cleaning bag 4, the cover 3 is removed, a finger is hooked on the handle of the cleaning bag 4, and the bag is easily pulled off to replace it with a new one.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio